

平成 31 年／令和元年度の事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

認定特定非営利活動法人日本心血管協会

1 事業の成果

認定特定非営利活動法人日本心血管協会は心臓血管系疾患の薬物療法の研究に関する事業を推進し、我が国における心臓血管系疾患の薬物療法の進捗普及に貢献し、国民の健康増進及び医療の発展に寄与する事を目的とする。この目的達成のため、初年度の平成 24 年度は特定非営利活動法人国際心血管薬物療法学会日本部会の協力体制確立、2 年目の平成 25 年度は動を順調に軌道に乗せ、3 年目の平成 26 年度はこれまでの活動を活発化させたが、4 年目の平成 27 年度はさらに規模の大きい活動を行い、以降平成 28 年度から平成 31 年度においても同様に活動を行った。具体的にはホームページの充実、市民公開講座の開催により一般市民に心臓血管疾患の現状と薬物療法の大切さを啓発する活動を行い、さらに医師や薬剤師などの医療関係者に適正な心血管薬物療法に関する教育・研修と心血管薬物療法のさらなる発展のための基礎的・臨床的学術情報の交換を目的に学術集会を実施した。また個人会員および賛助会員の募集を行い、ヨーロッパ心臓病学会「心血管ハンドブック」の翻訳版発刊を目指した編集を行うことにより、医療従事者への情報発信のための布石を行った。また、医師の適正な薬物療法の教育研修のために、国際心血管薬物療法学会に参加発表し討論すると共に、国内で研修会・研究会を開催した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数
心臓血管系疾患の予防と薬物療法に関する学術集会、研究会、教育研修会及び市民公開講座の開催	患者さん及び一般市民への心血管健康に関する啓発活動の一環として第十六回市民公開講座を京都で開催した。医師や薬剤師などの医療関係者に適正な心血管予防法と薬物療法に関する教育研修を行い、また心血管予防医学のさらなる発展のための基礎的・臨床的学術情報の交換を目的に第四回学術集会を開催した。	(A) 第十六回市民公開講座 ：令和元年 9 月 29 日 第四回学術集会 ：令和元年 6 月 8、9 日 (B) 第十六回市民公開講座：メルパルク京都(京都) 第四回学術集会：品川コンフェレンスセンター(東京) (C) 第十六回市民公開講座：15 人 第四回学術集会：30 人	(D) 市民公開講座 一般市民及び医師・薬剤師 学術集会 医師・薬剤師・医療関係者 (E) 第十六回市民公開講座：150 名 第四回学術集会：110 名

心臓血管系疾患の予防と薬物療法に関する情報提供及び情報伝達の為のホームページ運営事業	心血管薬物療法に関する総説や国内外臨床試験結果、基礎及び臨床研究論文、薬品安全情報などの紹介を行うため「心血管薬物療法ハンドブック」編集を行い、会員及び学術・医療関係者に印刷後、配布予定とした	(A) 平成31年(令和元)度の年3回 (B) 事務局 (C) 11名	(D) 心臓血管系疾患の薬物療法に関わる医師・薬剤師など学術・医療関係者 (E) 1,000名
	ホームページにて一般市民に心臓血管系疾患の予防及び薬物療法に関する情報を発信すると共に国内外臨床研究論文、薬品安全情報などを紹介し、個人会員及び賛助会員の募集を行った。	(A) 通年 (B) ホームページ (C) 11名	(D) 一般市民及び心臓血管系疾患の薬物療法に関わる医師・薬剤師など学術・医療関係者 (E) 不特定多数